

令和元年度

くまもと売れる米づくり
推進計画書



第7回未来に伝えたい農業・農村の風景フォトコンテスト

～「黎明の一灯」 畠村 卓様～

くまもと売れる米づくり推進本部

目次

はじめに	1
1. 基本方針	2
2. 生産対策	2
1) 需要に応じた計画生産による米づくり	2
2) 地域特性を活かした特色ある米づくり	2
3) 県産米の信頼の確保	2
4) 栽培技術向上対策	3
5) くまもとのお米レベルアップコンテスト等による生産振興	3
3. 集荷対策	3
1) 計画生産による出荷契約の推進と履行	3
2) 系統集荷向上対策の実施	3
3) 関係法令の周知徹底	3
4) 集出荷施設における品質事故防止対策等の強化	3
5) 仕分け集荷対策	4
4. 販売促進対策	4
1) 「くまさんの輝き」の認知度向上	4
2) 大消費地での販売強化	4
3) メディアやネット、公共交通機関等を活用した 県産JA米の認知度向上	4
4) 販促キャンペーンやイベント等による 県産JA米の認知度向上と販売促進	4
5) くまモン・お米やんを活用した販促グッズの作成・活用	4
6) 輸出促進に向けた関係部署との連携	4
5. 食育・消費拡大対策	4
〈参考資料〉	
主力品種生産・販売計画	6
熊本県産米価格の推移	7
水稲主要品種作付地域区分	8
平成30年産水稲地域別・品種別作付面積（確定値）	9
水稲うるち玄米熊本県内銘柄別等級比率	10
平成30年産水稲の収穫量（熊本）	11
平成30年産水稲の都道府県別作況指数	13
平成30年産水稲の市町村別収穫量	14
平成30年産水稲全国都道府県別順位	15
水稲累計統計（熊本）	16

はじめに

全国の平成30年産主食用米作付面積は138万6,000haとなり、前年産に比べ1万6,000ha増加した。

10a当たり収量は529kg、作況指数は98となったものの、作付増加により主食用米の収穫量は732万7,000 t と、前年産に比べ2万1,000 t 増加した。政府は、平成30/令和元年の主食用米等需要量を735万 t に設定し、令和元年6月末の主食用米等の民間在庫量を188万 t と見通している。

一方、熊本県における平成30年産の主食用米作付面積は3万2,300haで、前年産に比べ100ha増加した。

作柄は、梅雨明け以降高温・多照に経過し、全もみ数が多くなったことから、10 a 当たり収量は平年を上回る529kg（作況指数103）となり、主食用米の収穫量は面積増加もあって、前年産に比べ1,200 t 増加の17万900 t となった。

また、30年産の飼料用米は減少したものの、W C S用稲の増加と県産 J A米の供給不足に加え、需要が拡大している中食・外食等の業務用米への対応が課題である。

更に、少子高齢化や食生活の多様化により、国民一人あたりの米消費量や需要量が年々減少する中、各都道府県による新たな銘柄米の開発や著名人を起用した広告宣伝等もあり、主食用米の産地間競争が激化している。

1. 基本方針

- 1) 県産 J A 米の信頼確保と地域特性を活かした良食味米づくり等の「生産対策」に取り組む
- 2) 実需者への安定供給による再生産価格の確保のため「集荷対策」に取り組む
- 3) 県産 J A 米の認知度向上と販売促進に向けた「販売促進対策」に取り組む
- 4) 日本型食生活の普及拡大に向けた「消費拡大対策」に取り組む

2. 生産対策

全国的に新たな銘柄米が誕生し、産地間競争は年々激化していることから、当本部では県産 J A 米の安全・安心の確保はもとより、新品種「くまさんの輝き」を熊本県のリーディング品種として位置づけ、「熊本県推奨うまい米基準」に基づく生産や地域特性を活かした特色ある米づくりを推進するとともに、「やまだわら」等多収性品種による業務需要への対応等、需要に基づく生産体制を構築し、生産者の所得向上に取り組む。

1) 需要に応じた計画生産による米づくり

(1) 需要に応じた生産推進

卸や実需者のニーズに応える米を安定的に供給し、県産 J A 米の有利販売につなげるため、県や関係団体と連携し、需要に応じた主食用米の生産を推進する。

(2) 実需者ニーズに基づいた生産体制の確立

農家・J A と取引先・販売店との意見交換等により、実需者ニーズを把握し、ニーズに基づいた生産体制を構築する。

2) 地域特性を活かした特色ある米づくり

(1) 「くまさんの輝き」を中心とした良食味ブランド米づくり

「熊本県推奨うまい米基準」に基づき、県産米戦略プロジェクトチームや関係団体と連携し、良食味米生産を強化する。

(2) 高付加価値米づくり

地域特性を活かした特別栽培米、酒造好適米等を推進する。

(3) 多収性品種「やまだわら」の普及

多収性品種の安定多収生産技術の確立と省力・低コスト技術の導入や団地化等の効率的な生産を推進する。

3) 県産 J A 米の信頼の確保

(1) 栽培基準に基づく J A 米の推進

(2) 残留農薬検査・DNA鑑定等の実施

(3) 生産者毎のサンプル保管と検査結果等の開示

(4) 農産物検査技術の向上と検査員の確保

(5) グリーン農業への取組み

4) 栽培技術向上対策

- (1) 栽培技術向上に向けた講習会の開催
- (2) 現地検討会の開催
- (3) 優良産地研修の実施

5) くまもとのお米レベルアップコンテスト等による生産振興

- (1) 「くまさんの輝き」の良食味生産の強化
- (2) 「やまだわら」の収量向上の強化

3. 集荷対策

米産地としての信頼性を高め、価格安定につなげるためには、関係法令の順守や共乾施設での品質事故防止対策を強化するとともに、JAグループが一丸となり、需要や契約に基づいた集荷に取り組む。

1) 計画生産による出荷契約の推進と履行

- (1) 出荷契約
米の価格安定のため、出荷契約の積上げと契約に基づく集荷を推進する。
- (2) 複数年契約
実需者の要望に基づく複数年契約を推進する。

2) 系統集荷向上対策の実施

- (1) くまもと売れる米づくり推進大会の実施
- (2) 集荷体制の整備
集荷目標の必達に向けて、JA集荷推進本部、JAグループ熊本集荷対策プロジェクトチームの活動を強化する。
- (3) JA出荷米の明確化
JAが取扱う米穀と、JA以外の米穀との区別を明確にするため、「JA出荷米専用袋」並びに「JA米刻印」の管理を徹底し、JAが取扱う米の差別化を図る。
- (4) 多様な集荷手法の展開
出荷契約による共同計算の委託集荷や多様化する担い手・法人への集荷対策等に取り組む。

3) 関係法令の周知徹底

座談会等各種会議を通じて、生産者・JAに対し、米トレサビリティ法等の関係法令を周知する。

4) 集出荷施設における品質事故防止対策等の強化

- (1) 農業倉庫での保管・管理の徹底
- (2) 農業倉庫や共乾施設での事故防止対策と環境整備への取組強化
- (3) 仕分け集荷対策

5) 仕分け集荷対策

県産JA米のブランド力向上のために、「熊本県推奨うまい米基準」に基づいた仕分け集荷を推進する。

4. 販売促進対策

熊本県のリーディング品種である「くまさんの輝き」の広告宣伝活動を強化し、県産JA米のブランド力向上に努める。

また、販促グッズの作成やイベント・試食販売会の開催による宣伝活動等により、県産JA米の認知度向上と販売促進に取り組む。

1) 「くまさんの輝き」の認知度向上

- (1) 「くまさんの輝き」のイベントや広報活動の実施
- (2) 試食販売会やメディアを活用した認知度向上
- (3) 県産米戦略プロジェクトチームと連携した生産・販売の強化

2) 大消費地での販売強化

- (1) 大消費地（首都圏や関西地区等）での県産JA米の広告宣伝活動の実施
- (2) 産地と消費地との交流会の実施

3) メディアやネット、公共交通機関等を活用した県産JA米の認知度向上

- (1) テレビ・ラジオ・新聞・インターネット・雑誌等による情報発信
- (2) ホームページによる情報発信
- (3) ラッピングバスによる情報発信

4) 販促キャンペーンやイベント等による県産JA米の認知度向上と販売促進

5) くまモン・お米やんを活用した販促グッズの作成・活用

6) 輸出促進に向けた関係部署との連携

5. 食育・消費拡大対策

農業に対する理解促進と日本型食生活の普及拡大のため、幼稚園から中学生を対象とした食農教育と「朝ごはんを毎日食べる運動」や「米飯学校給食運動」、「お弁当の日」等、主食である米の消費拡大につながる活動を強化する。

また、朝食欠食率の高い子育て世代の20～30代をターゲットにした食育を強化する。

1) 地域本部におけるアグリキッズスクール・稲作体験の支援

2) 地場農産物を取り入れた米飯学校給食運動や地産地消の取組強化

3) ご飯食「お弁当の日」の実践と普及・推進

4) くまもと農業フェアへの参画

4校

- 5) 小・中学生を対象とした「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの開催支援
- 6) 農業の多面的機能等をPRするTV・ラジオの制作・放映への協賛
- 7) マスメディアの有効活用
- 8) 食育活動の推進

4校

〈参考資料〉

主力品種生産・販売計画

品 種	生 産 ・ 販 売 計 画
くまさんの輝き	<p>新品種「くまさんの輝き」は平成30年に本格デビューする期待の品種。 29年産米食味ランキングでは参考品種ながら2年連続（県北）特Aを獲得しており、熊本県産米を牽引するリーディング品種に育てる。 また、県民に愛されるお米となるよう、消費者や生産者への認知度向上やイメージアップに取り組む。</p>
コシヒカリ	<p>全国的なブランド品種で、産地の特性を活かした特別栽培米及びグリーン農業による生産・販売を強化する。 早期米：天草地区を中心に特別栽培米に取り組み、県産米の先陣を切った早期販売に取り組む。 普通期米：阿蘇地区を中心に特別栽培米に取り組み、収量性の向上と良食味米向上対策に取り組む。</p>
ヒノヒカリ	<p>西日本全域で広く生産されており、品質・食味が安定していることから、業務用・家庭用として広く需要がある。 30産米食味ランキングでは、11年連続（県北）「特A」を獲得するなど、県産ヒノヒカリは高い評価を得ている。 今後も更なる品質・食味向上対策に取り組む、生産地と実需者を結びつけた販売を展開する。 JAグループ統一精米袋商品「三度のときめき」を中心に、「熊本県推奨うまい米基準」に応じたSランク米「プレミアム三度のときめき」の積極的なPRを展開する。</p>
森のくまさん	<p>熊本県独自の良食味品種であり、24年産米の食味ランキングにおいて最高得点で特Aを獲得しており、熊本県を代表する品種である。 JAグループ統一精米袋商品の「森のくまさん」や、「熊本県推奨うまい米基準」に応じたSランク米「プレミアム森のくまさん」のPRを積極的に展開する。</p>
くまさんの力	<p>熊本県独自の良食味・耐暑性品種であり、過去には食味ランキングで特Aを獲得している。令和元年産米においても、品質・食味向上対策に取り組む、特A獲得を目指す。 熊本市を中心に栽培がされており、学校給食にも採用されている。 JAグループ統一精米袋商品「熊水そだち（ゆうすいそだち）」として積極的にPR活動を行い、販売拡大に取り組む。</p>
もち米	<p>もち米団地を中心に品質向上に努め播種前等の契約栽培による販売を進める。</p>

熊本県産米価格の推移

(単位：円)

	コシヒカリ	ヒノヒカリ	森のくまさん	作況指数
平成5年	22,843	21,983	-	77
平成6年	21,514	20,725	-	115
平成7年	20,284	19,343	-	106
平成8年	19,552	18,571	-	104
平成9年	17,470	16,664	-	100
平成10年	18,858	17,367	-	104
平成11年	17,347	16,411	16,347	81
平成12年	16,215	15,331	15,341	102
平成13年	16,323	15,300	15,305	103
平成14年	16,407	14,678	14,680	103
平成15年	22,056	18,799	18,708	96
平成16年	16,334	-	15,007	77
平成17年	15,695	14,439	14,403	93
平成18年	15,709	15,006	15,024	85
平成19年	14,868	13,741	13,625	100
平成20年	15,443	14,603	14,785	101
平成21年	14,726	14,105	13,957	100
平成22年	13,101	12,090	11,863	99
平成23年	16,245	15,059	15,273	101
平成24年	17,930	16,715	16,553	97
平成25年	15,249	14,612	15,039	97
平成26年	13,534	12,465	12,797	97
平成27年	14,793	13,659	14,386	97
平成28年	15,767	14,278	14,518	102
平成29年	15,521	14,876	14,514	102
平成30年	15,650	15,095	14,901	103

※価格には運賃、包装代、消費税相当額が含まれる

※平成15年産米までは自主流通米の入札結果

※平成16年産米ヒノヒカリは、上場なし

※平成18年産米については、8月から19年10月までの加重平均

※平成19年産米については、8月から20年10月までの加重平均

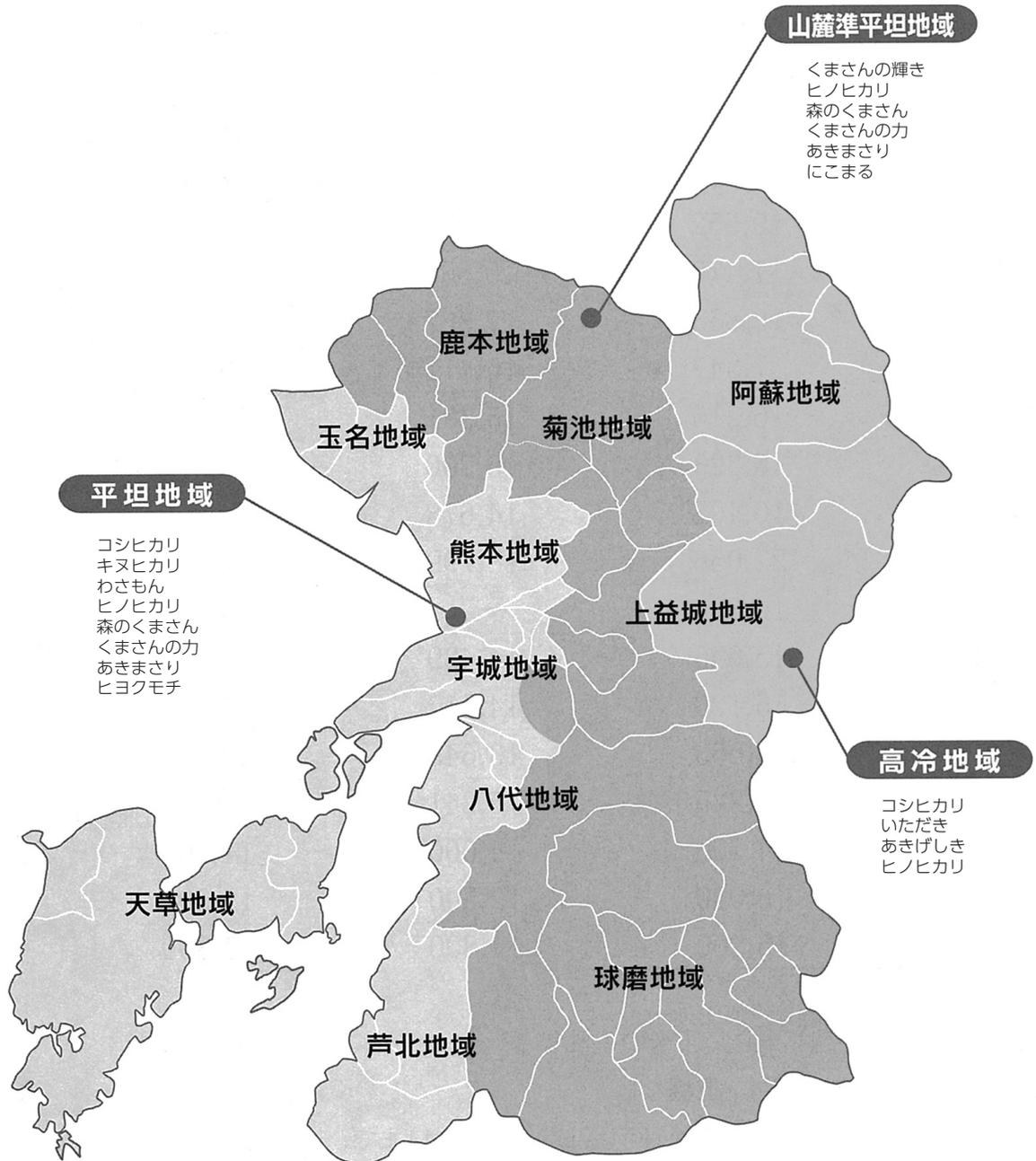
※平成20年産米については、契約開始月から21年10月までの加重平均

※平成21年産米～平成24年産米については契約開始月から翌年10月までの加重平均

※平成25～28年産米については出回りから翌年の10月までの平均価格

※平成30年産米については平成30年産米の出回りから翌年の5月までの平均価格

水稻主要品種作付地域区分



平成30年産水稻地域別・品種別作付面積（確定値）

H31/3/28作成
(単位：ha)

品種名	熊本	宇城	玉名	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草	計	品種構成%
コシヒカリ	4	56	3	0	0	1,995	61	19	6	31	1,239	3,415	10.3
構成比	0%	2%	0%	0%	0%	58%	2%	1%	0%	1%	36%	100%	
キヌヒカリ	31	9	130			1	9	719	1		17	916	2.8
構成比	3%	1%	14%			0%	1%	78%	0%		2%	100%	
あきげしき		1		1	6	841	224		0	7		1,080	3.2
構成比		0%		0%	1%	78%	21%		0%	1%		100%	
ヒノヒカリ	1,236	1,036	2,616	1,599	2,123	592	2,248	1,806	622	2,796	331	17,004	51.1
構成比	7%	6%	15%	9%	12%	3%	13%	11%	4%	16%	2%	100%	
森のくまさん	1,044	1,294	716	437	13	181	589	336	14	72	25	4,722	14.2
構成比	22%	27%	15%	9%	0%	4%	12%	7%	0%	2%	1%	100%	
くまさんの力	621	28	26	1	1	0	3	249	15	10	19	972	2.9
構成比	64%	3%	3%	0%	0%	0%	0%	26%	2%	1%	2%	100%	
くまさんの輝き	7	2	4	19	16	6	23	4	9	22	0	114	0.3
構成比	6%	2%	4%	17%	14%	5%	20%	4%	8%	19%	0%	100%	
あきまさり	352	173	112	21	18	2	5	48	1	6		739	2.2
構成比	48%	23%	15%	3%	2%	0%	1%	7%	0%	1%		100%	
やまだわら	3	18	63	4	3	70	2	65	7	26		260	0.8
構成比	1%	7%	24%	2%	1%	27%	1%	25%	3%	10%		100%	
いただき						16	3					19	0.1
構成比						82%	18%					100%	
わさもん	2		0	0				4			8	14	0.0
構成比	11%		2%	0%				28%			60%	100%	
山田錦			23	1	1	9	7		0	21		62	0.2
構成比			37%	1%	2%	15%	11%		0%	34%		100%	
華錦	19		8			8	4		2		1	42	0.1
構成比	46%		19%			20%	9%		5%		1%	100%	
その他うるち	48	51	41	11	29	259	41	189	6	412	41	1,129	3.4
構成比	4%	4%	4%	1%	3%	23%	4%	17%	1%	37%	4%	100%	
ミズホチカラ			74	94	6		0	1		12		186	0.6
構成比			40%	50%	3%		0%	1%		6%		100%	
北陸193号	2							1		6		9	0.0
構成比	23%							10%		67%		100%	
水稻うるち計	3,370	2,668	3,818	2,189	2,215	3,981	3,222	3,437	684	3,421	1,680	30,685	92.2
構成比	11%	9%	12%	7%	7%	13%	11%	11%	2%	11%	5%	100%	
ヒヨクモチ	760	135	426	73	24	1	14	678	14	14	3	2,141	6.4
構成比	35%	6%	20%	3%	1%	0%	1%	32%	1%	1%	0%	100%	
峰の雪もち	0	1	1		1	0		140		1	10	153	0.5
構成比	0%	1%	1%		1%	0%		91%		0%	6%	100%	
その他もち	1	3		8	8	21	5	219	5	24	18	313	0.9
構成比	0%	1%		3%	3%	7%	2%	70%	2%	8%	6%	100%	
水稻もち計	760	138	427	81	33	22	20	1,037	19	38	31	2,607	7.8
構成比	29%	5%	16%	3%	1%	1%	1%	40%	1%	1%	1%	100%	
水稻計	4,130	2,804	4,245	2,270	2,248	4,003	3,242	4,474	703	3,460	1,711	33,290	100
構成比	12%	8%	13%	7%	7%	12%	10%	13%	2%	10%	5%	100%	

注) 四捨五入やラウンドの関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。

注) 水稻作付面積は農林水産統計による。(主食用米、加工用米、米粉用米、備蓄用米、種子用米の合計)

注) 作付面積は、平成30年産水稻の市町村別作付面積(農水省)に地域毎の品種別作付け割合を乗じて算出した。

注) 地域別品種別作付け割合は、<参考データ>を集計し、地域毎の品種割合を算出した。

注) 熊本の作付面積は旧富合・城南町及び旧植木町の作付面積を含み、旧蘇陽町は上益城に含まれる。

注) 今後、検査実績等により作付面積が修正されることがある。

<参考データ>

・熊本県農業共済組合水稻引受面積(支所別品種別)

・農林水産省：新規需要米取組面積(再生協議会別品種別新規需要米取組面積(申請結果))

・農産園芸課：H30年度指定種子生産ほ場申請面積、農産物検査結果

水稲うるち玄米熊本県内銘柄別等級比率

単位（検査数量：トン、等級：％）

年産	作況指数	銘柄	検査数量	1等級	2等級	3等級	規格外
30	103 (98)	コシヒカリ	8,878	77	20	3	1
		ヒノヒカリ	36,320	34	64	2	0
		森のくまさん	12,437	11	87	2	0
		くまさんの力	3,470	61	37	1	0
		くまさんの輝き	456	81	19	0	0
29	102 (100)	コシヒカリ	9,531	30	60	8	2
		ヒノヒカリ	33,879	38	59	3	1
		森のくまさん	12,678	13	86	1	0
		くまさんの力	3,466	71	28	1	0
28	102 (103)	コシヒカリ	9,723	77	19	3	1
		ヒノヒカリ	37,245	27	70	2	1
		森のくまさん	14,480	10	88	2	1
		くまさんの力	3,501	63	33	4	1
27	97 (101)	コシヒカリ	8,859	80	18	1	1
		ヒノヒカリ	37,586	56	43	1	1
		森のくまさん	15,148	28	71	1	1
		くまさんの力	3,970	75	23	1	1
26	97 (101)	コシヒカリ	10,590	81	15	2	1
		ヒノヒカリ	36,678	51	48	1	1
		森のくまさん	10,381	45	54	1	0
		くまさんの力	4,008	73	25	2	0
25	97 (102)	コシヒカリ	11,577	71	24	3	2
		ヒノヒカリ	41,769	42	55	2	1
		森のくまさん	12,840	7	92	1	1
		くまさんの力	4,584	82	17	1	0
24	97 (102)	コシヒカリ	10,695	81	16	2	1
		ヒノヒカリ	41,194	43	55	1	0
		森のくまさん	13,319	5	94	1	0
		くまさんの力	3,720	73	25	1	0
23	101 (101)	コシヒカリ	12,297	82	16	2	1
		ヒノヒカリ	36,501	52	46	1	0
		森のくまさん	10,539	24	75	0	0
		くまさんの力	3,958	79	20	1	0
22	99 (98)	コシヒカリ	12,749	79	16	3	2
		ヒノヒカリ	42,643	17	75	7	1
		森のくまさん	13,962	2	94	2	1
		くまさんの力	3,988	70	28	2	0
21	100 (98)	コシヒカリ	13,981	72	20	7	1
		ヒノヒカリ	39,472	56	41	2	0
		森のくまさん	10,128	66	33	1	0
		くまさんの力	669	69	29	3	0
20	101 (102)	コシヒカリ	16,698	50	40	7	2
		ヒノヒカリ	44,264	28	66	5	1
		森のくまさん	14,196	6	91	3	0

(注1) 30年産は31年3月末時点での数値である。

(注2) 作況指数の()は全国平均

(注3) 四捨五入の関係で等級比率が100%にならないことがある。

平成30年産水稲の収穫量（熊本）

水稲の10a当たり収量は529kg（作況指数103）
収穫量（子実用）は17万900t

【調査結果の概要】

熊本県における水稲の作柄は、梅雨明け以降高温・多照に経過し、全もみ数が多くなったことから、10a当たり収量は529kg（作況指数103）となり、この結果、収穫量（子実用）は17万6,200tとなった。

また、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、17万900tとなった。

表1 平成30年産水陸稲の収穫

区分	作付面積 (ha)	10a当たり 収量 (kg)	10a当たり 平年収量 (kg)	作況指数	子実用収穫量 (t)
水陸稲計	33,300	529	513	103	176,200
水稲	33,300	529	513	103	176,200
陸稲	—	—	—	—	0

表2 水陸稲の作付面積、10a当たり収量及び収穫量の推移

年産	作付面積 (ha)	10a当たり 収量 (kg)	10a当たり 平年収量 (kg)	作況指数	収穫量 (t)
30年	33,300	529	513	103	176,200
29年	33,300	527	513	102	175,500
28年	33,800	527	513	102	178,100
27年	35,600	500	515	97	178,000
26年	37,500	500	515	97	187,500
25年	38,400	502	515	97	192,800
24年	38,100	501	515	97	190,900
23年	37,900	519	515	101	193,600
22年	39,500	512	515	99	202,200
21年	39,700	515	515	100	204,500
20年	39,700	522	515	101	207,200
19年	41,000	513	515	100	210,300
18年	42,000	440	515	85	184,800
17年	42,700	479	515	93	204,100
16年	42,300	396	512	77	167,500
15年	40,900	491		96	200,400

【調査結果】

1 作柄概況

(1) 県北地帯

全もみ数は、穂数、1穂当たりもみ数ともに「やや多い」となったことから、「多い」となった。

登熟は、全もみ数が多いことによる相反作用と9月中旬以降日照不足で経過したことから、「やや不良」となった。

このことから、10a当たり収量注1は544kg、作況指数注2は「102」となった。

(2) 阿蘇地帯

全もみ数は、穂数、1穂当たりもみ数ともに「平年並み」となったことから、「平年並み」となった。

登熟は、出穂期以降、天候に恵まれたことから、「やや良」となった。

このことから、10a当たり収量は511kg、作況指数は「102」となった。

(3) 県南地帯

全もみ数は、穂数が「多い」となり、1穂当たりもみ数が「やや多い」となったことから、「多い」となった。

登熟は、全もみ数が多いことによる相反作用と9月中旬以降日照不足で経過したことから、「やや不良」となった。

このことから、10a当たり収量は525kg、作況指数は「104」となった。

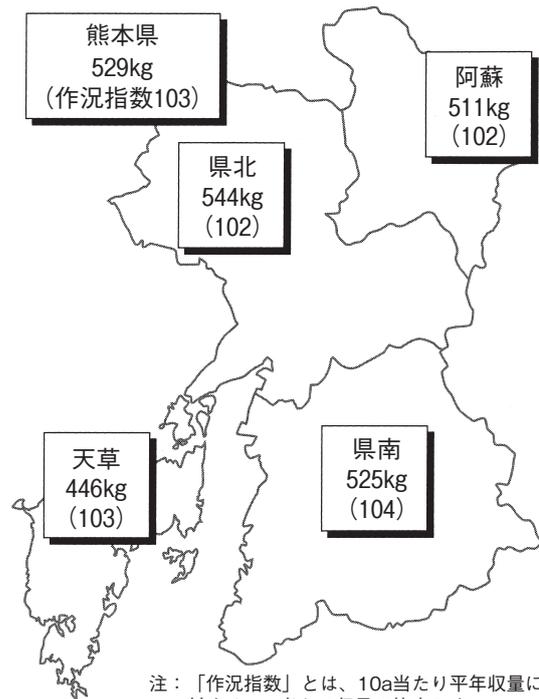
(4) 天草地帯

全もみ数は、穂数が「やや多い」となり、1穂当たりもみ数が「多い」となったことから、「多い」となった。

登熟は、全もみ数が多いことによる相反作用と台風によるもみ擦れや倒伏等の影響から、「不良」となった。

このことから、10a当たり収量は446kg、作況指数は「103」となった。

図 水稻の作柄表示地帯別10a当たり収量



2 被害状況

全般的に病害虫の発生は少なかったが、登熟後半にいもち病と紋枯病の発生が見られた。

平成30年産水稻の都道府県別作況指数

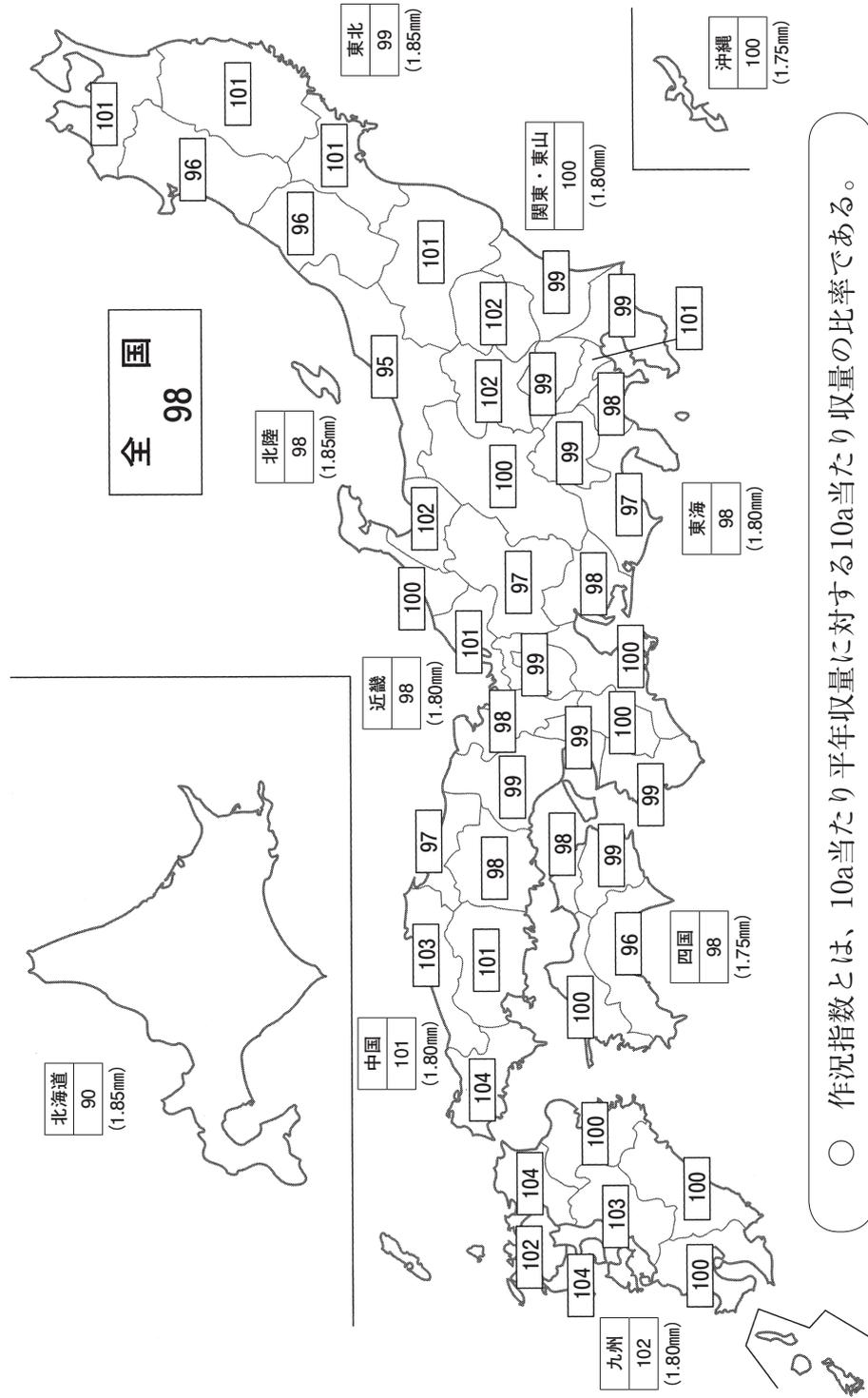
【調査結果の概要】

平成30年産水稻の作付面積（子実用）は147万haとなり、前年産に比べ5,000ha増加した。このうち、主食用作付面積は138万6,000haとなり、前年産に比べ1万6,000ha増加した。

平成30年産水稻の全国の10a当たり収量は529kgとなり、前年産に比べ5 kg減少した。

また、農家等が使用している幅ベースの全国の作況指数は、98となった。

以上の結果、平成30年産水稻の収穫量（子実用）は778万tとなり、前年産に比べ4万2,000t減少し、このうち、主食用の収穫量は732万7,000tとなり、前年産に比べ2万1,000t増加した。



4校

平成30年産水稻作柄年産水稻の市町村別収穫量

単位

作付面積：ha
10a当たり収量：kg
収 穫 量：t

		作付面積	10a当たり収量	収穫量			作付面積	10a当たり収量	収穫量
全 国		1,470,000	529	7,780,000	山鹿市		2,270	541	12,300
福 岡		35,300	518	182,900	菊池市郡	菊池市	1,690	545	9,210
熊 本		33,300	529	176,200		合志市	303	529	1,600
佐 賀		24,300	532	129,300		大津町	111	562	624
大 分		20,700	501	103,700		菊陽町	144	560	806
鹿 児 島		19,200	481	92,400		市 郡 計	2,248	544	12,240
宮 崎		16,100	493	79,400	阿蘇市郡	阿蘇市	2,110	514	10,900
長 崎		11,500	499	57,400		南小国町	220	492	1,080
沖 縄		716	308	2,210		小国町	281	486	1,370
熊 本	平成10年	45,200	515	232,800		産山村	162	477	773
	11年	44,900	407	182,700		高森町	198	506	1,000
	12年	44,000	517	227,500	西原村	79	527	416	
	13年	42,700	522	222,900	南阿蘇村	953	531	5,060	
	14年	41,900	523	219,100	市 郡 計	4,003	515	20,599	
	15年	40,800	491	200,300	上益城郡	御船町	541	553	2,990
	16年	42,300	396	167,500		嘉島町	317	562	1,780
	17年	42,600	479	204,100		益城町	779	553	4,310
	18年	42,000	440	184,800		甲佐町	355	549	1,950
	19年	41,000	513	210,300		山都町	1,250	506	6,340
	20年	39,700	522	207,200	郡 計	3,242	536	17,370	
	21年	39,700	515	204,500	八代市郡	八代市	3,980	538	21,400
	22年	39,500	512	202,200		氷川町	494	564	2,790
	23年	37,900	519	196,700		市 郡 計	4,474	541	24,190
	24年	38,100	501	190,900	芦北市郡	水俣市	160	478	765
	25年	37,900	519	196,700		芦北町	477	485	2,310
	26年	37,500	500	187,500		津奈木町	66	487	321
	27年	35,600	500	178,000		市 郡 計	703	483	3,396
	28年	33,800	513	178,100		球磨市郡	人吉市	488	523
	29年	33,300	527	175,500	錦町		477	522	2,490
	30年	33,300	529	176,200	多良木町		638	511	3,260
	熊本市	4,130	562	23,200	湯前町		289	513	1,480
	宇土市	654	551	3,600	水上村		141	496	699
	宇城市	1,750	531	9,290	相良村	198	486	962	
	下益城	美里町	400	490	1,960	五木村	9	405	36
		郡計	400	490	1,960	山江村	116	482	559
	玉 名 市 郡	荒尾市	370	516	1,910	球磨村	84	458	385
		玉名市	2,480	545	13,500	あさぎり町	1,020	526	5,360
		玉東町	150	518	777	市 郡 計	3,460	514	17,781
		南関町	410	521	2,140	天草市郡	上天草市	229	454
長洲町		302	536	1,620	天草市		1,320	443	5,830
和水町		533	514	2,740	苓北町		162	470	761
市郡計		4,245	534	22,687	市 郡 計		1,711	446	7,631

4校

平成30年産水稲全国都道府県別順位

順位	都道府県	作付面積 子実用(ha)	都道府県	10a当たり 収量(kg)	都道府県	収穫量 子実用(t)	都道府県	10a当たり 平年収量(kg)	都道府県	作況指数
	全国	1,470,000	全国	529	全国	7,780,000	全国	532	全国	98
1	新潟	118,200	長野	618	新潟	627,600	長野	619	山口	104
2	北海道	104,000	青森	596	北海道	514,800	山形	596	福岡	104
3	秋田	87,700	山形	580	秋田	491,100	青森	590	長崎	104
4	茨城	68,400	福島	561	山形	374,100	秋田	573	島根	103
5	宮城	67,400	秋田	560	宮城	371,400	北海道	548	熊本	103
6	福島	64,900	富山	552	福島	364,100	山梨	547	栃木	102
7	山形	64,500	宮城	551	茨城	358,400	福島	544	群馬	102
8	栃木	58,500	栃木	550	栃木	321,800	新潟	543	富山	102
9	千葉	55,600	岩手	543	千葉	301,400	栃木	540	佐賀	102
10	岩手	50,300	千葉	542	岩手	273,100	千葉	540	青森	101
11	青森	44,200	山梨	542	青森	263,400	富山	540	岩手	101
12	富山	37,300	佐賀	532	富山	205,900	岩手	536	宮城	101
13	兵庫	37,000	新潟	531	長野	199,000	宮城	534	福島	101
14	福岡	35,300	福井	530	福岡	182,900	岡山	526	東京	101
15	熊本	33,300	熊本	529	兵庫	182,000	茨城	524	福井	101
16	長野	32,200	広島	525	熊本	176,200	広島	523	広島	101
17	埼玉	31,900	茨城	524	滋賀	162,300	静岡	521	石川	100
18	滋賀	31,700	島根	524	岡山	156,100	石川	520	長野	100
19	岡山	30,200	山口	522	埼玉	155,400	福井	519	三重	100
20	愛知	27,600	石川	519	愛知	137,700	佐賀	519	奈良	100
21	三重	27,500	福岡	518	三重	137,200	滋賀	518	愛媛	100
22	石川	25,100	岡山	517	福井	132,500	鳥取	514	大分	100
23	福井	25,000	奈良	514	石川	130,300	熊本	513	宮崎	100
24	佐賀	24,300	滋賀	512	佐賀	129,300	奈良	513	鹿児島	100
25	広島	23,400	静岡	506	広島	122,900	島根	511	茨城	99
26	岐阜	22,500	群馬	506	岐阜	107,600	京都	511	埼玉	99
27	大分	20,700	京都	502	大分	103,700	愛知	507	千葉	99
28	山口	19,800	大分	501	山口	103,400	山口	504	山梨	99
29	鹿児島	19,200	愛知	499	鹿児島	92,400	兵庫	502	滋賀	99
30	島根	17,500	三重	499	島根	91,700	大分	502	大阪	99
31	宮崎	16,100	長崎	499	静岡	79,900	三重	500	和歌山	99
32	静岡	15,800	愛媛	498	宮崎	79,400	愛媛	498	徳島	99
33	群馬	15,600	鳥取	498	群馬	78,900	福岡	496	沖縄	99
34	京都	14,500	北海道	495	京都	72,800	宮崎	496	神奈川	98
35	愛媛	13,900	大阪	494	愛媛	69,200	香川	496	愛知	98
36	鳥取	12,800	宮崎	493	鳥取	63,700	群馬	495	京都	98
37	香川	12,500	兵庫	492	香川	59,900	和歌山	495	兵庫	98
38	高知	11,500	和歌山	492	長崎	57,400	大阪	495	岡山	98
39	長崎	11,500	神奈川	492	徳島	53,600	神奈川	494	岐阜	97
40	徳島	11,400	埼玉	487	高知	50,700	埼玉	490	静岡	97
41	奈良	8,580	鹿児島	481	奈良	44,100	岐阜	488	鳥取	97
42	和歌山	6,430	香川	479	和歌山	31,600	鹿児島	482	秋田	96
43	大阪	5,010	岐阜	478	山梨	26,600	長崎	480	山形	96
44	山梨	4,900	徳島	470	大阪	24,700	徳島	474	香川	96
45	神奈川	3,080	高知	441	神奈川	15,200	高知	458	高知	96
46	沖縄	716	東京	417	沖縄	2,200	東京	414	新潟	95
47	東京	133	沖縄	307	東京	555	沖縄	309	北海道	90

注：作付面積は、青刈り面積を除いた子実用の作付面積である。

水稲累計統計（熊本）

（単位：ha, kg, トン）

年次	作付面積	10a当たり収量	収穫量	作況指数	10a当たり平均収量	備考
昭和 29	73,000	323	235,900	90	360	大雨、台風2回
30	75,000	383	287,500	107	360	
31	75,100	350	262,900	97	360	
32	75,400	336	253,400	93	360	大雨、台風2回
33	75,200	427	320,500	118	362	
34	76,000	402	305,700	111	361	
35	76,300	403	307,900	109	370	
36	76,700	387	297,000	102	381	
37	76,700	400	307,000	102	392	
38	76,200	416	317,300	105	396	
39	76,000	415	315,500	103	402	
40	76,300	412	314,400	101	407	
41	76,600	470	360,000	115	407	
42	77,600	486	377,100	119	407	
43	79,400	457	362,900	108	422	
44	79,900	469	374,700	105	447	
45	71,700	418	299,700	91	461	9月中旬以降寡照
46	66,700	416	277,500	90	463	台風19号
47	65,600	488	320,100	105	464	
48	67,100	462	310,000	100	464	
49	70,300	478	336,000	103	464	
50	41,900	501	360,200	108	464	
51	72,500	442	320,500	95	467	台風17号
52	72,300	492	355,700	105	467	
53	67,000	500	335,000	106	470	
54	64,600	491	317,200	104	473	
55	61,500	430	264,500	91	475	台風13、16号
56	58,900	505	297,400	106	475	
57	58,300	463	269,900	97	479	台風10、13、18、19号
58	58,900	475	279,800	99	479	
59	60,100	505	303,500	105	479	
60	61,100	487	297,600	101	481	
61	60,200	520	313,000	108	483	
62	54,800	462	253,200	95	486	風水害、日照不足
63	53,600	525	281,400	108	486	
平成 元	52,800	517	273,000	106	488	
2	52,200	497	259,400	101	492	
3	51,300	416	213,400	84	494	台風19号、生育期寡照
4	53,000	492	260,800	100	494	
5	53,500	378	202,200	77	494	長雨、低温、日照不足
6	56,600	570	322,600	115	494	
7	52,400	522	273,500	106	494	
8	49,200	512	251,900	104	494	
9	48,800	495	241,600	100	495	
10	45,200	515	232,800	104	495	
11	44,900	407	182,700	81	500	台風18号
12	44,000	517	227,500	102	505	
13	42,700	522	222,900	103	505	
14	41,900	523	219,100	103	509	
15	40,800	491	200,300	96	511	
16	42,300	396	167,500	77	512	台風16、18号
17	42,600	479	204,100	93	515	台風14号
18	42,000	440	184,800	85	515	台風13号
19	41,000	513	210,300	100	515	
20	39,700	522	207,200	101	515	
21	39,700	515	204,500	100	515	
22	39,500	512	202,200	99	515	
23	37,900	519	196,700	101	515	東日本大震災
24	38,100	501	190,900	97	515	九州北部豪雨
25	38,400	502	192,800	97	515	
26	37,500	500	187,500	97	515	日照不足、ウンカ
27	35,600	500	178,000	97	515	日照不足、いもち病、台風15号
28	33,800	527	178,100	102	513	熊本地震
29	33,300	527	175,500	102	513	
30	33,300	529	176,200	103	513	

